

事業報告書

事業報告

周南市文化振興財団は、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和3年度からの5年間の指定管理業務を終了し、令和8年度から5年間の指定を受けたところである。

自主文化事業として、各館に応じた事業や地域との連携を重視した活動を行い、豊かな文化環境づくりを進めた。これらの事業を広く知ってもらい、また参加の機会を提供するため、3施設を一体化させた情報紙「かるちゃあ通信花畠」やホームページ、SNS等による発信に努めた。中学校部活動の地域展開に際して「周南かるちゃあサポートセンター」を開設し、中学生に限らず多くの市民が文化芸術に触れる機会を提供していく準備を整えた。

また、周南市の委託事業として文化会館、美術博物館、動物園、中央図書館、駅前図書館の、「周南まちなか文化ゾーン」に位置する5施設が連携して「まどさんを感じてぶらりまち歩き」のリーフレットを作成し配布した。

令和5年度に発覚した不祥事については、規程改正や組織体制の刷新を図り、ガバナンスの効く体制づくりに努めるとともに、昨年を引き続き、県や市の指導のほか公認会計士や社会保険労務士、行政書士など専門家の助言も受けながら再発防止に取り組んだ。研修を重ね、再発防止策の徹底と職員のコンプライアンス意識の醸成にも努めた。

1. 文化会館

文化会館は昭和57年に開館し43年目を迎えた。優れた舞台芸術を鑑賞する場、日頃の文化活動を発表する場、生活文化全般にわたる様々な催しの場として、適切な整備に努め利用を促進した。座席数1,647席を持つ本格的なコンサートホールとしての機能を活かし様々な公演を行い、今では日本有数の芸術文化施設として認知されている。

大ホールを会場に事業を実施するホール事業と、幅広い事業を通して市民文化を育成する企画事業を、創意工夫しながら積極的に推進した。さらに館外での文化の普及を目指した事業にも取り組んだ。

(1) 管理運営事業

設備の整備充実を図り一層の利用促進に努めた。施設利用者の相談にもきめ細かく対応するなど、身近で親しまれる施設として運営を続けている。

(ア) 施設の整備

開館して43年が経過、長期改修計画に基づいて改善に努めている。大規模改修に向けて令和4年度から市との協議を開始、令和6年度から基本設計の準備、令和7年度から改修工事の準備を行っている。日常においても舞台設備などの細かな点検や修理を定期的の実施し長寿命化を図っている。

(イ) 施設の利用状況

令和7年度の年間利用者数は145,510人、使用料は38,984千円、使用件数は1,797件であった。

使用率は大ホール46.5%、全体で64.4%であった。

(ウ) プレイガイドの運営

文化会館の催し物をはじめ、県内各地のホールや美術館のチケットを販売、各種チラシも施設等のネームプレートを付けて分かりやすく設置するなど、機能の充実に努めた。

(エ) 公立文化施設協議会等

山口県公立文化施設協議会に参加し、各館の自主事業について調整や連携等を行った。また一般財団法人周南観光コンベンション協会の理事として、コンベンション情報の提供等を行った。

(2) ホール事業

クラシック、ポップス、伝統芸能、演劇、演歌など、大ホールを利用して幅広く舞台芸術を届ける事業である。実施にあたっては自主事業に加え、地元放送局、地元企業、プロモーターとの共催事業を積極的に展開した。

クラシックでは、「清塚信也 with NHK交響楽団メンバー」「ウィーン少年合唱団」「西京コンサート ジョセップ・ヴィセント指揮スペインADDA交響楽団」「ベルリン・フィルの7人のヴィルトゥオーゾたち」などを開催、いずれも好評を得た。ポップスでは「沢田研二 LIVE 2025」「千昌夫・新沼謙治・中村美律子～三人の歌のステージ～」「久保田利伸」など、伝統芸能では「中村勘九郎 中村七之助新緑歌舞伎特別公演2025」「新・純邦楽ユニットWASABI」「坂東玉三郎～お話と素踊り～」を開催した。吹奏楽では「yab吹奏楽コンサート 滝川第二高等学校吹奏楽部」、子ども向けに「キミとアイドルプリキュア♪」「仮面ライダースーパーライブ」など、また「キーウ・クラシック・バレエー白鳥の湖」など多彩なラインナップで盛り上げた。

(3) 企画事業

日常生活の中に文化を定着させることを主眼にした企画事業は、財団独自のノウハウに根差した取り組みとして大きな成果を上げている。

詩人まど・みちおの世界を伝える「第30回まど・みちおコスモス音楽会」では631人の幼稚園・保育園の年長児が「ぞうさん」「一ねんせいに なったら」などを元気に歌った。

サロンコンサートは「0歳から楽しむコンサート」を開催、幼少期から優れた演奏を間近で聴いてもらう機会を提供した。また芸術鑑賞講座として西京コンサートに関連した「クラシック鑑賞入門講座」を実施、芸術鑑賞への理解を深めてもらった。

この他、周南市の委託事業として「周南市戦後80年事業 あゝ大津島 碧き海」、会員招待事業として「カーテンアップコンサートVol.3～周南ゆかりの若手演奏家たち～」を開催した。

周南かるちゃあサポートセンター事業として、芸術文化との出会いの場を提供する移動文化教室、「野村友輝クラリネットリサイタル」「メープルハーモニーコンサート」「かるサボ料理教室」(2回)を開催した。また周南市中学校文化連盟と共催で周南市中学生芸術鑑賞会、「劇団四季ファミリーミュージカル 王子と少年」を上演。多くの生徒が優れた舞台芸術に触れる機会を提供した。

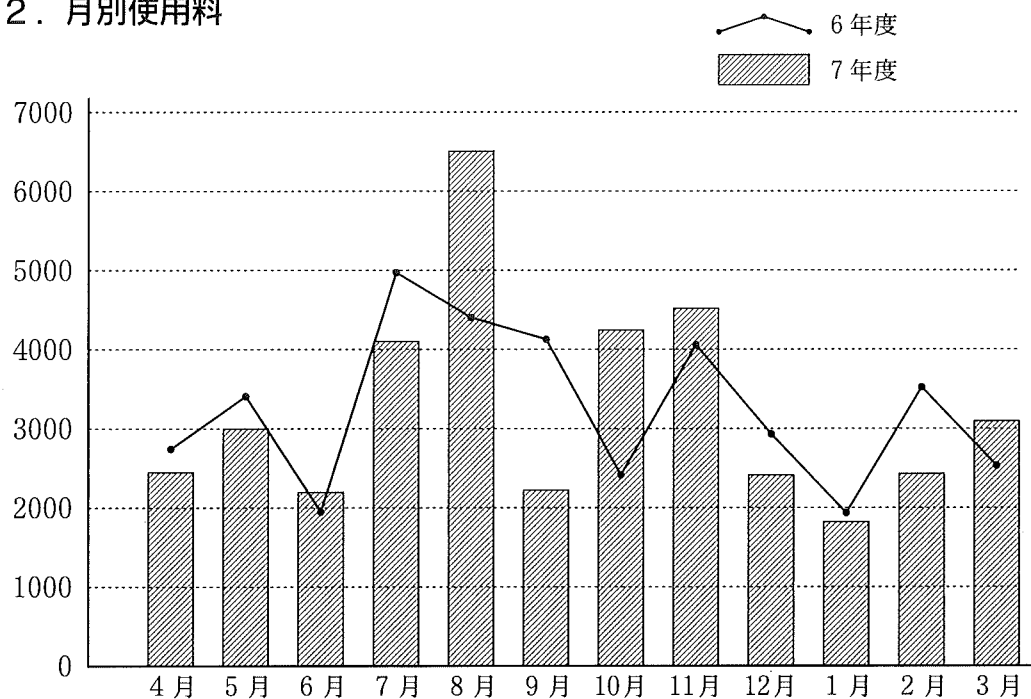
児童生徒に周南市地域クラブを紹介する「周南市地域クラブ見本市」を昨年引き続き開催した。

参考資料

1. 施設別使用料

室 区 分	施設使用料	器具使用料	冷・暖房料	合 計	割 合
大 小 一 ル (楽 屋)	18,481,900 ^円	10,025,520 ^円	1,855,780 ^円	30,363,200 ^円	77.9 [%]
リハーサル室	1,358,550	115,060	170,820	1,644,430	4.2
練 習 室 1	690,660	194,840	112,300	997,800	2.6
練 習 室 2	600,970	58,550	64,850	724,370	1.9
練 習 室 3	530,220	32,790	41,340	604,350	1.5
地下展示室	993,180	200,600	77,170	1,270,950	3.3
和 室	688,340	33,580	70,900	792,820	2.0
3 階 展 示 室	1,744,550	698,610	143,880	2,587,040	6.6
食 堂	0	0	0	0	0.0
合 計	25,088,370	11,359,550	2,537,040	38,984,960	100.0
割 合	64.4%	29.1%	6.5%	100.0%	

2. 月別使用料



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
6 年 度	2,742	3,408	1,949	4,972	4,404	4,128	2,445	4,057	2,930	1,934	3,522	2,531	39,022
7 年 度	2,446	2,998	2,196	4,103	6,506	2,223	4,243	4,518	2,410	1,819	2,430	3,092	38,984

(単位 千円)

3. 施設別利用状況

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	
開 館 日 数	大 ホ ー ル	28	29	25	29	29	
	各 室	27	29	28	29	29	
大 ホ ー ル	使用日数(日)	8	13	8	17	23	
	件数(件)	7	10	7	16	17	
	使 用 率(%)	28.6	44.8	32.0	58.6	79.3	
リハーサル室	使用日数(日)	24	24	26	28	24	
	件数(件)	31	31	34	34	19	
	使 用 率(%)	88.9	82.8	92.9	96.6	82.8	
練 習 室 1	使用日数(日)	17	19	19	24	22	
	件数(件)	22	27	27	36	27	
	使 用 率(%)	63.0	65.5	67.9	82.8	75.9	
練 習 室 2	使用日数(日)	17	22	16	24	23	
	件数(件)	22	28	20	29	25	
	使 用 率(%)	63.0	75.9	57.1	82.8	79.3	
練 習 室 3	使用日数(日)	24	17	20	22	24	
	件数(件)	28	21	28	30	27	
	使 用 率(%)	88.9	58.6	71.4	75.9	82.8	
地 下 展 示 室	使用日数(日)	11	8	6	12	13	
	件数(件)	10	5	6	13	9	
	使 用 率(%)	40.7	27.6	21.4	41.4	44.8	
和 室	使用日数(日)	20	21	15	19	22	
	件数(件)	17	18	16	21	17	
	使 用 率(%)	74.1	72.4	53.6	65.5	75.9	
3 階 展 示 室	使用日数(日)	18	11	13	14	12	
	件数(件)	11	8	11	10	6	
	使 用 率(%)	66.7	37.9	46.4	48.3	41.4	
日 数 合 計		139	135	123	160	163	
件 数 合 計		148	148	149	189	147	
使 用 率(%)		64.1	58.2	55.7	69.0	70.3	
利 用 者 数 (人)		9,289	12,881	5,572	13,738	26,293	

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
21	29	28	26	26	25	21	316
28	29	28	26	26	26	29	334
8	16	19	9	9	8	9	147
6	14	13	7	7	6	6	116
38.1	55.2	67.9	34.6	34.6	32.0	42.9	46.5
22	19	25	20	20	17	20	269
28	20	24	23	24	20	23	311
78.6	65.5	89.3	76.9	76.9	65.4	69.0	80.5
24	20	20	19	19	16	17	236
33	24	19	25	24	23	24	311
85.7	69.0	71.4	73.1	73.1	61.5	58.6	70.7
23	25	22	23	24	20	21	260
26	34	23	28	29	26	25	315
82.1	86.2	78.6	88.5	92.3	76.9	72.4	77.8
22	19	23	16	20	14	16	237
31	27	24	18	23	21	21	299
78.6	65.5	82.1	61.5	76.9	53.8	55.2	71.0
16	15	20	5	11	7	8	132
10	14	10	4	6	7	6	100
57.1	51.7	71.4	19.2	42.3	26.9	27.6	39.5
26	21	25	16	19	23	18	245
22	22	18	17	20	18	15	221
92.9	72.4	89.3	61.5	73.1	88.5	62.1	73.4
15	19	24	11	15	15	17	184
9	14	13	9	11	10	12	124
53.6	65.5	85.7	42.3	57.7	57.7	58.6	55.1
156	154	178	119	137	120	126	1,710
165	169	144	131	144	131	132	1,797
71.9	66.4	79.5	57.2	65.9	58.0	56.3	64.4
9,409	15,610	18,575	7,511	9,614	6,935	10,083	145,510

4. 大ホール催し一覧

	クラシック	ポピュラー	演劇・演芸・舞踊	
4 月	周南市・防府市共同企画 オーケストラ・フェスティバルコンサート 清塚信也withN響メンバー カラフル・ミュージック・ツアー2025	沢田研二LIVE2025 霜柱と蠟梅の森	徳山ライオンズクラブ チャリティー 石見神楽 ー左鐙社中ー	
5 月	ウィーン少年合唱団2025 生誕200年記念シュトラウス・フォー・エバー!	ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの2025 三山ひろしコンサート2025 ～熱唱! 熱演! うた語り～	中村勘九郎 中村七之助 新緑歌舞伎特別公演2025 それいけ! アンパンマン ミュージカル [おもちゃの国とみんなのたからもの]	
6 月		新・純邦楽ユニット WASABI 15th Anniversary "Open the Door" 千昌夫・新沼謙治・中村美津子 ～三人の歌のステージ～	周南市民劇場 劇団文化座「母」	
7 月	みらいを奏でる音楽会2025 ～名曲で楽しむ世界旅行～	AI 25th best tour ←ALIVE→ EXILE ATSUSHI LIVE TOUR 2025 "Heart to Heart" Season 2		
8 月			周南市戦後80年事業 あゝ大津島 碧き海 周南市民劇場 加藤健一事務所 「滝沢家の内乱」	
9 月	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー 2025～2026		春風亭一之輔のドッサリまわるぜ2025	
10 月		20th Anniversary 植村花菜 スペシャル・コンサート Family Ties ～家族の絆～ 久保田利伸 40th Anniversary Tour 2025-26 [Big Up!]	周南市中学生芸術鑑賞会 劇団四季ファミリーミュージカル 「王子と少年」 キーウ・クラシック・バレエ 白鳥の湖 全2幕 「笑点」公開収録	
11 月	西京コンサート ジョセップ・ヴィセント指揮 スペインADDA交響楽団 (ギター: 村治佳織) 内山優子 シューベルティアーデ ヨハンシュトラウス生誕200年記念ツアー ムノツィル・プラス シュトラウス STRAUSS	藤井フミヤ 47都道府県コンサートツアー 2025-2026 FUTATABI 葉加瀬太郎コンサートツアー2025 TARO HAKASE 35th Anniversary The Best of 35 Years	周南市民劇場 青年劇場「星をかすめる風」 NHKチャリティーコンサート 「おかあさんといっしょ ファミリーコンサート」周南公演	
12 月		松浦航大×よよよちゃん 歌まねライブ LiSA全国ホールツアー [LIVE is Smile Always ～PATCH WALK～]	周南市民劇場 俳優座劇場「夜の来訪者」	
1 月	カーテンアップコンサートVol.3 ～周南ゆかりの若手演奏家たち～		キミとアイドルプリキュア♪ ドリームステージ♪ 声優朗読劇「クリスマス・キャロル」	
2 月	yab吹奏楽コンサート 滝川第二高等学校吹奏楽部 ベルリン・フィルの7人のヴァルトゥオーゾたち		周南市民劇場 トム・プロジェクト・プロデュース 「風を打つ Blow the wind」	
3 月			仮面ライダースーパーライブ2026 坂東玉三郎 (人間国宝・歌舞伎俳優) ～お話と素踊り～ M-1グランプリ2025 スペシャルツアー	

講 演 会	大会・式典	発 表 会	そ の 他
	周南公立大学 令和7年度入学式		花まつり子供大会
	令和7年度周南市戦没者追悼式 令和7年度周南市戦没者合同追悼法要		令和7年度公益社団法人 周南市シルバー人材センター 定時総会 令和7年度周南市民生委員児童委員協議会 総会
	ピティナ・ピアノコンペティション 周南地区予選		
	「海の日」記念式典&吹奏楽コンサート	周南地区吹奏楽連盟サマーコンサート	令和7年度安全運転管理者等講習会 令和7年度山口県立徳山高等学校 学校説明会
	ピティナ・ピアノコンペティション 中国4・中国デュオ3(周南)地区 第44回全日本小学生バンドフェスティバル 中国大会(ステージ部門) 第66回全日本吹奏楽コンクール 中国大会		
	岐山地区敬老の日記念行事	周南市立岐陽中学校 吹奏楽部 第48回定期演奏会 周南フィルハーモニー管弦楽団 第22回定期演奏会 第19回周南邦楽連盟演奏会	
国際ソロプチミスト徳山 チャリティ講演会 三牧聖子 第8回周南市認知症講演会		第41回徳山吹奏楽団 定期演奏会 第26回周南市民文化祭 文化を楽しむ会 山口大学教育学部附属光義務教育学校 オータムコンサート 山口県桜ヶ丘学園 晃英館中学校 桜ヶ丘高等学校吹奏楽部 第4回定期演奏会	令和7年度安全運転管理者等講習会
	第21回輝きクラブ周南高齢者振興大会 および周南市安全・安心推進大会	令和7年度山口県中学校総合文化祭 第30回まど・みちおコスモス音楽会 共楽保育園生活発表会	
	周南市民生委員児童委員協議会 委嘱式	河原幼稚園遊戯会 山口県立徳山商工高等学校 定期演奏会	
	令和7年度周南市二十歳の記念式典	令和7年度周南地区吹奏楽連盟 新人演奏会	
第15回文化講演会 周南市ゆかりの人 医薬基盤・健康・栄養研究所 副所長/センター長 國澤純 講演会		和光保育園生活発表会	周南市地域クラブ見本市2026
		周南フィルハーモニー管弦楽団 第23回定期演奏会 徳山高等学校吹奏楽部 第17回定期演奏会 ソ・エレメ パレエ第3回発表会	

5. ホール事業

事業名	開催日	入場者	入場料	
清塚信也 with NHK交響楽団メンバー カラフル・ミュージック・ツアー2025	7. 4.19	1,641人	全席指定 S 席 8,800円 A 席 7,700円	
沢田研二 LIVE 2025 霜柱と蠟梅の森	7. 4.20	1,581人	全席指定 8,800円	
北島三郎リスペクトコンサート THE 北島三兄弟	7. 4.27 (中止)	—	全席指定 7,500円 25歳以下 2,000円	
中村勘九郎 中村七之助 新緑歌舞伎特別公演2025	7. 5.11	1,667人	全席指定 S 席 9,500円 A 席 7,500円 B 席 5,500円	
ウィーン少年合唱団2025 生誕200年記念 シュトラウス・フォー・エバー！	7. 5.15	579人	全席指定 S 席 7,500円 A 席 6,000円 B 席 4,500円	
ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈りもの2025	7. 5.17	1,207人	全席指定 S S 席 12,000円 S 席 8,900円 A 席 7,600円 学生席 2,000円	
新・純邦楽ユニットWASABI 15th Anniversary “Open the Door”	7. 6. 1	428人	全席指定 5,000円 (小学生～18歳以下 300名無料招待、 同伴の保護者1名半額)	
千昌夫・新沼謙治・中村美律子 ～三人の歌のステージ～	7. 6. 9	831人	全席指定 6,800円	

内 容	反 響 ・ 反 省
ピアニスト清塚信也が、NHK交響楽団メンバーと、クラシックの名曲からドラマのサントラ曲まで幅広いジャンルの音楽を楽しみトークと共に演奏した。	K R Y山口放送、日本アーティストとの共催。清塚信也はテレビ出演もあって人気が高く、チケットは早々に完売した。N響メンバーの演奏も素晴らしく、ご当地ネタを踏まえたトークと共に観客を沸かせた。
1967年にザ・タイガースの一員としてデビュー、1971年からソロとなり活躍を続ける沢田研二のコンサート。満員の観客の中、75歳とは思えない熱唱で最新曲を歌い上げた。	ユニオン音楽事務所との共催。ベテランの域に達した今も人気は衰えず、ほぼ満席となり観客を沸かせた。
コロッケ、北山たけし、大江裕によるコンサートであったが、コロッケの体調不良のため公演中止となった。	K R Y山口放送、読売新聞社他との共催。コロッケ本人が来訪しテレビ出演をしてPRするなど力を入れていたが、中止となり残念であった。チケットの払い戻しは順調に行われた。
中村勘九郎、七之助の二人が中心となり、中村屋一門で行う恒例の巡業公演。演目は「高尾懺悔」「太刀盗人」。トークコーナーも交えた公演であった。	サンライズプロモーションとの共催。華のある若手歌舞伎役者兄弟による競演と楽しいトークに観客も満足していた。券売は順調で、チケットもほぼ完売した。
世界を代表する少年合唱団。23年ぶりの来訪。生誕200年を迎えるヨハン・シュトラウス2世の「美しく青きドナウ」やオーストリア民謡、日本を代表する唱歌など幅広い曲を披露した。	tysテレビ山口との共催。観客は彼らの「天使の歌声」を堪能し、会場は温かく楽しい雰囲気にも包まれた。平日の開催だったからか、券売はなかなか伸びず苦労した。
ディズニーの音楽を、スクリーンの映像と共にヴォーカリストとオーケストラの生演奏で届けるライブエンターテインメント。「アナと雪の女王」「白雪姫」などを演奏、日本語歌詞による演奏で感動を届けた。	ユニオン音楽事務所との共催。家族連れの来場も多く、客席通路での歌唱パフォーマンスでは、会場が一体となって盛り上がった。
津軽三味線の「吉田兄弟」の兄、吉田良一郎が率いる邦楽ユニット。津軽三味線、尺八、箏、太鼓の4人が新しいサウンドを響かせた。邦楽の新しい形を示したコンサートであった。	K R Y山口放送との共催。文化庁の「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」の補助を受けた。吉田良一郎氏のテレビ出演やメンバーによるメッセージなどPRに力を入れたが、券売は伸びなかった。邦楽公演の難しさを痛感した。
千昌夫「北国の春」、新沼謙治「嫁に来ないか」、中村美津子「河内おとこ節」などの代表作を持つ演歌歌手3人の共演。	ソワードとの共催。文化会館販売分は完売となった。観客は演歌歌手のステージならではの表現豊かな歌唱を堪能していた。

5. ホール事業（続き）

事業名	開催日	入場者	入場料	
A I 25th best tour←ALIVE→	7. 7.12	1,668人	全席指定 9,900円	
春風亭一之輔の ドッサリまわるぜ2025	7. 9.13	1,075人	全席指定 4,000円	
高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト コンサートツアー2025～2026	7. 9.15	1,638人	全席指定 7,800円	
キーウ・クラシック・バレエ 白鳥の湖 全2幕	7.10. 9	631人	全席指定 4,800円	
久保田利伸 40th Anniversary Tour 2025-26 『Big up!』	7.10.10	1,716人	全席指定 12,000円	
西京コンサート ジョセップ・ヴィセント指揮 スペインADDA交響楽団 (ギター：村治佳織)	7.11. 1	1,084人	全席指定 S 席 9,000円 A 席 8,000円 B 席 7,000円	
葉加瀬太郎 コンサートツアー2025 TARO HAKASE 35th Anniversary The Best of 35 Years	7.11.23	1,622人	全席指定 11,000円	
ヨハン・シュトラウス生誕200年記念ツアー ムノツィル・プラス シュトラウスSTRAU\$\$	7.11.24	757人	全席指定 S 席 5,500円 A 席 4,500円 学生席 2,000円	

内 容	反 響 ・ 反 省
25周年記念ベストアルバムを携えて2025年5月から始まった全国30公演ツアーの一環。大ヒット曲「Story」「ハピネス」など渾身の思いを込めたステージパフォーマンスを披露した。	夢番地広島との共催。チケットではなく引換券を販売、早々に完売した。公演は立見も出、迫力あるステージに観客も感動していた。
2023年から笑点のレギュラーメンバーを務める真打の噺家。古典落語をベースに現代的なギャグを盛り込んだテンポの良い語り口で観客を笑いの渦に巻き込んだ。	yab山口朝日放送との共催。チケット販売も好調で、巧みな話芸に来場者の方々も大変満足した公演となった。
高嶋ちさ子と12人のヴァイオリニストが、クラシックの名曲など様々な曲をトークを交えて演奏した。	yab山口朝日放送、BS朝日との共催。テレビでの知名度もありチケットは完売した。豪華な演奏と軽妙なトークやパフォーマンスで会場を沸かせた。
歴史と芸術あふれるウクライナのバレエ団の公演。クラシック・バレエの代表作「白鳥の湖」を上演した。	インプレサリオ東京との共催。正確な技術と気品あふれる芸術性で伝統あるクラシックバレエを上演、観客に感動を与えた。観客には現在バレエを習っている子どもたちも多かった。
40周年記念全国ホールツアーの一環。長年のキャリアによる根強いファンや、新しい世代のファンが多く訪れ、名曲の数々を堪能した。	夢番地広島との共催。チケットではなく引換券を販売し早々に完売、立見が出るほどの盛況であった。徳山動物園のマレーグマ「ウメキチ」をテーマにした歌を披露し、SNSで話題となった。
スペインの新進気鋭オーケストラの初来日公演。ジョセップ・ヴィセントによる指揮と日本を代表するギタリスト村治佳織の共演で「アランプエス協奏曲」やビゼーやラベルなどのスペインにちなんだ名曲を演奏した。	西京銀行、西京教育文化振興財団、KRY山口放送との共催。市内3社のご厚意で中学生100名を招待した。若々しいオーケストラの演奏、中でもボレロは情熱にあふれ、観客を感動の渦に巻き込んだ。
3年ぶりとなったコンサート。「情熱大陸」をはじめとしたダイナミックなヴァイオリン演奏は来館者の心を沸き立たせていた。	yab山口朝日放送、BS朝日との共催。発売後まもなく完売となり、購入されたお客様からも「毎回楽しみにしている」といった声も多かった。
ウィーンを中心とした超一流金管奏者によるコンサート。素晴らしいテクニックとユーモアあふれるパフォーマンスで会場を沸かせた。	KRY山口放送との共催。周南地区吹奏楽連盟にも協力を仰いだりが券売は伸び悩んだ。しかし素晴らしい演奏と楽しいパフォーマンスに会場は大変盛り上がり、アンコールの拍手が鳴り止まなかった。

5. ホール事業（続き）

事業名	開催日	入場者	入場料	
松浦航大×よよよちゃん 歌まねライブ	7.12. 7	769人	全席指定 5,500円	
キミとアイドルプリキュア♪ ドリームステージ♪	8. 1.17 (2回公演)	① 990人 ② 938人 計 1,928人	全席指定 4,000円	
yab吹奏楽コンサート 滝川第二高等学校吹奏楽部	8. 2. 8	640人	全席指定 S 席 3,000円 A 席 2,500円	
ベルリン・フィルの 7人のヴィルトゥオーゾたち	8. 2.28	778人	全席指定 S 席 8,000円 A 席 6,500円	
仮面ライダースーパーライブ2026	8. 3. 8 (2回公演)	① 1,095人 ② 771人 計 1,866人	全席指定 4,000円	
坂東玉三郎（人間国宝・歌舞伎俳優） ～お話と素踊り～	8. 3.20	1,563人	全席指定 S 席 8,800円 A 席 6,800円 B 席 4,800円	

6. 企画事業

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
かるサポセミナー	7. 5.31	練習室 1	27団体30人	・地域クラブ登録 団体：無料 ・地域クラブ登録 団体以外：500円 / 1 団体（個人）	

内 容	反 響 ・ 反 省
様々な歌まね番組で優勝を飾ってきた松浦航大と、ものまねタレント兼YouTuberのよよちゃん二人のタッグによる歌まねライブコンサート。	yab山口朝日放送との共催。二人ともテレビ出演が多く知名度があるため、券売も順調に伸びた。大人から子どもまで楽しめるプログラムで、楽しく満足度の高い公演となった。
子どもたちに大人気のアニメ「キミとアイドルプリキュア♪」の舞台版。みんなで楽しめる歌とダンスいっぱいのミュージカルショー。	劇団飛行船との共催。例年開催されており、楽しみにしている子どもも多い。
吹奏楽の普及と支援を目的にスタートしたyab吹奏楽コンサート。今回は兵庫県の滝川第二高等学校吹奏楽部の公演を行った。	yab山口朝日放送との共催。パワフルな演奏で会場は熱気に包まれていた。全国の高校吹奏楽の今を知る良い機会となっている。周南地区吹奏楽連盟にも案内したが、券売は伸び悩んだ。
創立140年の歴史を誇るベルリン・フィルハーモニー管弦楽団より、7人のヴィルトゥオーゾたちが世界最高水準の室内楽アンサンブルを披露した。	K R Y山口放送との共催。圧倒的な演奏に観客は大満足の様子であったが、券売は伸び悩み、特に販売期間後半に大きな動きがなく、広報に課題が残った。
テレビで子どもたちに大人気の仮面ライダーシリーズの劇場版。音・光・アクションの連続で迫力あるステージとなった。	yab山口朝日放送との共催。テレビで見るスーパーヒーローの演技に子どもたちは夢中になった。終演後のライダーとのゲータッチ会も大好評であった。
人間国宝坂東玉三郎の公演。前半のトークショーでは日々の暮らしを、質問コーナーでは氏の長年の芸能生活から来る真摯な思いを語った。素踊りでは化粧、衣装無しの素の姿で胸に迫る踊りを見せた。	サンライズプロモーションとの共催。様々な媒体で広報を行い、チケットはほぼ完売した。普段知ることのできない坂東玉三郎の新たな一面を見ることができた。

内 容	反 響 ・ 反 省
部活動地域展開の動きをきっかけに設立した周南市地域クラブ登録団体を対象に、セミナーを開催した。普段の活動で生じる疑問や不安を解消する機会となった。	中学生との関わり方やトラブル時の対処等に不安を感じていた団体の方々も、現役教員であり周南市地域クラブ登録団体の指導者でもある西村康隆氏の講話を聞いて、前向きに捉えることができていたようだ。

6. 企画事業（続き）

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
出光興産主催 みらいを奏でる音楽会2025 ～名曲で楽しむ世界旅行～	7. 7. 5	大ホール	1,381人	無 料	
0歳から入場OK 子どもから大人まで楽しめる 音楽とお話コンサート Part9	7. 7.13	リハーサル室	① 93人 ② 51人 計 144人	全席自由 大人(高校生以上) 1,500円 子ども(3歳～中学生) 800円 3歳未満無料	
周南市戦後80年事業 あゝ大津島 碧き海 (受託事業)	7. 8. 3	大ホール	943人	全席自由 一般 4,000円 学生(大学生以下) 1,000円	
かるサボ料理教室 サンルート徳山 「シェフのこだわり 夏野菜カレー」	7. 8. 4	学び交流プラザ	18人	1,500円	
広島ウインドオーケストラによる 音楽クリニック	7. 8.30	山口県立徳山 商工高等学校	18人	1,000円 (西京コンサート、 ムノツイルプラスの チケットがあれば無料)	
クラシック鑑賞入門講座 「スペイン音楽の魅力 ～異国情緒の源泉を探して～」	7. 9.23	練習室 1	39人	無 料	
移動音楽教室 「野村友輝 クラリネットリサイタル」	7.10. 7	①岐山小学校 ②秋月小学校	① 260人 ② 490人 計 750人	無 料	
周南市中学生芸術鑑賞会 劇団四季ファミリーミュージカル 「王子と少年」	7.10. 8	大ホール	1,195人	無 料	

内 容	反 響 ・ 反 省
出光興産が地域への文化貢献として開催する「みらいを奏でる音楽会」。新進気鋭のタケティカオートオーケストラ、ソプラノ、バリトン、ピアノと共にクラシックや映画音楽で世界旅行を楽しんだ。	受付事務は前々回から出光興産が担当、ネット受付のみになった。出光音楽賞にゆかりのある若手音楽家の演奏は毎回新しい感動を与えてくれる。
鑑賞機会の少ない乳幼児とその親を対象にした演奏会。フルート足立智子、ピアノ夏川純子、箏・胡弓上野瑞穂にくわえ、K R Yアナウンサー山本博子により、音楽物語「もりのなか」ほかを演奏した。	温かい朗読と楽しい曲で子どもたちもリラックスして鑑賞していた。保護者の方にも喜んでもらえた。畳敷きの会場は毎回好評である。
戦後80年を迎えた本年、周南市の戦争の歴史として忘れることのできない人間魚雷回天をテーマに、長年上演を続けている若林哲行氏プロデュースによる舞台演劇を上演した。観覧者一人一人が命の尊さ、平和の大切さを胸に刻んでいた。	周南市受託事業。人間魚雷回天をテーマにした演劇の上演は大変意義深いものであった。全席自由としていたが思いのほか当日券が出たため、急遽2階席も開放するなど運営に手間取ったところは反省点である。
部活動地域展開に関連して実施した。小学5年生から中学生までを対象に、ホテルサンルート徳山のシェフによるクッキング講座を開催した。	アンケート結果を参考にカレーライスとサラダ作りに挑戦した。プロの指導ということで皆真剣に取り組み、参加者からは「家に帰ってから作ってみたい」「参加して楽しかった」と大変喜ばれた。
周南地区吹奏楽連盟に所属する吹奏楽部員と、対象楽器の経験があり、かつ楽器持参が可能な周南市内在住の中高生を対象に、プロの吹奏楽団広島ウインドオーケストラのメンバーによるクリニックを開催した。	生徒たちはプロの演奏家から指導を受けることで演奏技術の向上や、今後の成長にもつながった。またプロから直接アドバイスを受けられる機会は貴重であることから、次回もぜひ参加したいと好評を得た。
スペインADDA交響楽団コンサートに連動した、コンサートをより楽しむための講座。講師に広島交響楽団チェロ奏者、染谷春菜氏を迎え、スペイン音楽の特徴や成り立ちを歴史、音楽的側面から解説した。	ヨーロッパの中でも特徴のあるスペイン音楽について、普段楽曲に親しんでいる演奏家ならではの視点による解説は大変興味深かった。
クラリネット野村友輝、ピアノ守田諭代2名で野村氏の母校岐山小学校を含む2校を訪ね、「クラリネットボルカ」などを演奏した。	ユーモアあふれる話と楽しい演奏で自然に手拍子が起こり、児童は積極的に演奏に向き合っていた。岐山小では保護者の方も来校し、多くの方々にプロの音色を届けた。
感受性豊かな時期に本格的な舞台公演との出会いをと、周南市中学校文化連盟と共催で昭和63年から取り組んでいる。コロナ禍を経て昨年からようやく実演に戻り、出演者とのふれあいもできた。	劇団四季が2008年から取り組んでいる企画「こころの劇場」により実現した。感受性豊かな時期にホールで芸術を鑑賞することは貴重な体験になる。運営にあたっては教師との綿密な打ち合わせが必要である。

6. 企画事業（続き）

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
かるサポセミナー	7.10.26	練習室 1	8団体 9人	・地域クラブ登録 団体：無料 ・地域クラブ登録 団体以外：500円 / 1 団体（個人）	
移動音楽教室 「メープルハーモニー コンサート」	7.11.10	①久米小学校 ②三丘小学校	① 590人 ② 60人 計 650人	無 料	
第30回まど・みちお コスモス音楽会	7.11.14	大 ホ ー ル	1,600人	無 料	
会員招待 カーテンアップコンサートVol.3 ～周南ゆかりの 若手演奏家たち～	8. 1.31	大 ホ ー ル	461人	全席自由 会 員 無 料 一 般 2,000円 高校生以下 1,000円	
バックステージツアー	8. 1.31	大 ホ ー ル	38人	無 料	
かるサポ料理教室 ガーデンカフェ日 「米粉のチョコカップケーキ」	8. 2. 7	学び交流プラザ	17人	1,500円	
地域クラブ見本市	8. 2.15	エントランス ホ ー ル 大 ホ ー ル	500人	無 料	
月刊紙 「かるちゃあ通信花畠」 発行	毎 月 1 回	（規格） A 4 サイズ	（発行数） 6,000部～ 7,000部	（用途） 会 員 用 一 般 用	

内 容	反 響 ・ 反 省
部活動地域展開の動きをきっかけに設立した周南市地域クラブ登録団体を対象に、セミナーを開催した。登録団体同士での意見交換の機会も提供し、他団体の意見も取り入れながら団体運営の参考にしてもらった。	地域クラブ登録団体から事前に募集した疑問や不安に対してセミナー講師の西村康隆氏が回答した。あわせて団体同士の交流の場として座談会も実施。普段は接点のない団体同士でお互いの団体運営について意見を交わした。
フルート足立智子、オーボエ藤井浩子、クラリネット立川瑞穂、ファゴット藤田早苗、ホルン森口洋輔による木管五重奏で「サウンドオブミュージックメドレー」などを演奏した。	2校3公演を行った。児童はメロディーを口ずさみ、体を揺らしながら皆熱心に鑑賞していた。しかし出演者にとって1日3公演は過酷であり、次回は同日2公演までに留める必要性を感じた。
周南市出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成する心温まるコンサート。地元音楽グループによる創作舞台の前半と、市内の幼稚園、保育園の年長児によるまど・みちおの童謡歌唱の後半で構成した。	前半は毎回楽しい公演が行われている。後半は出演園児の減少に伴いグループ数を減らした。また今回から園の先生の補助も入り、園児の指導、移動も順調に行うことができた。
周南市出身の8人の若手演奏家、クラリネット野村友輝、谷口里菜、河口眞空、フルート奥田奏至、ファゴット河野友紀、サクソフォーン柳本深月、ピアノ守田諭代、棟近綾奈による、財団会員招待のニューイヤーコンサート。	8人が色々な組み合わせで、バラエティに富んだ曲目を演奏した。合間のトークが長くなり時間が押してしまった。今後もシリーズとして続け、地元の演奏家の発表の場としたい。エネルギー文化・スポーツ財団助成事業。
「カーテンアップコンサート」終演後に実施。普段客席から見ることでできない舞台裏を紹介し、文化会館をより身近に感じてもらう企画として実施した。	オーケストラピットや奈落など、普段見ることのできない舞台装置を体験でき、喜んでもらえると同時に、舞台そのものに興味を持ってもらえた。
部活動地域展開に関連して実施した。小学5年生から中学生までを対象。(実際の参加者は小学5,6年生) ガーデンカフェ日日のパティシエによるお菓子作り講座を開催した。	前回のアンケート結果を参考にお菓子作りを実施した。子どもたちは各班で協力しながら取り組んでいた。集客方法は対象学年にチラシを配布する方法等で行ったが、配布方法が煩雑で手間がかかるため、次回以降の検討課題としたい。
部活動地域展開に関連する事業として、地域クラブ登録団体が主体となり体験ブースを開設、大ホールでのデモンストレーションのほか、各団体の紹介ブースを設けた。主に子ども向けではあるが大人も文化活動に触れることができる体験型イベント。	見本市には多くの小中学生や保護者が参加し盛況であった。昨年より参加者は増加し、徐々に部活動地域展開への関心度が増しているように感じた。大ホールでの実演は出演者がかなり準備してきていただいただけにほぼ空席の中での演舞が寂しく、広報について検討が必要である。
3館の主催・共催事業を中心に文化団体の記事を掲載、オールカラーで見やすくレイアウトし、ホームページにも掲載、積極的に情報発信に努めた。	自主事業への参加や施設の利用を高める総合的な文化情報紙。会員や公共施設にとどまらず、地域の店舗、飲食店等にも協力してもらい設置、一般の方が手に取る機会を提供した。

7. 文化振興財団会員の推移

種別 \ 年度		56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度
個	人	36	195	278	231	278	372	432	437	447	453	509	504
家族	件数	40	321	425	391	370	438	372	389	361	355	380	379
	人数	138	1,262	1,731	1,517	1,382	1,639	1,360	1,429	1,343	1,336	1,432	1,403
団体	件数	2	25	33	29	25	22	24	22	18	24	24	22
	人数	55	586	470	403	346	303	335	310	301	409	398	417
合計	件数	78	541	736	651	673	832	828	848	826	832	913	905
	人数	229	2,043	2,479	2,151	2,006	2,314	2,127	2,176	2,091	2,198	2,339	2,324

種別 \ 年度		5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
個	人	617	525	599	522	615	602	512	771	588	672	922	867
家族	件数	421	371	469	473	460	423	370	680	444	464	617	589
	人数	1,572	1,335	1,702	1,685	1,660	1,526	1,348	2,811	1,645	1,727	2,451	2,339
団体	件数	23	19	19	19	17	17	17	18	20	20	23	21
	人数	460	384	370	368	357	357	329	342	342	347	364	328
合計	件数	1,061	915	1,087	1,014	1,092	1,042	899	1,469	1,052	1,156	1,562	1,477
	人数	2,649	2,244	2,671	2,575	2,632	2,485	2,189	3,924	2,575	2,746	3,737	3,534

種別 \ 年度		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
個	人	884	862	954	1,185	1,059	1,069	991	781	950	924	973	887
家族	件数	576	636	673	776	697	738	693	539	638	538	532	473
	人数	2,330	2,564	2,733	2,925	2,625	2,766	2,617	2,037	2,428	1,979	1,914	1,693
団体	件数	20	20	21	30	32	24	30	24	18	20	21	27
	人数	325	317	336	400	386	336	312	303	253	281	282	322
合計	件数	1,480	1,518	1,648	1,991	1,788	1,831	1,714	1,344	1,606	1,482	1,526	1,387
	人数	3,539	3,743	4,023	4,510	4,070	4,171	3,920	3,121	3,631	3,184	3,169	2,902

種別 \ 年度		29年度	30年度	31年度 (元年度)	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
個	人	974	1,054	1,031	688	618	527	594	667	591
家族	件数	521	519	528	380	303	230	270	259	231
	人数	1,814	1,786	1,777	1,291	1,055	772	893	842	719
団体	件数	27	25	23	22	19	15	18	16	16
	人数	333	304	300	298	236	195	252	235	212
合計	件数	1,522	1,598	1,581	1,090	940	772	882	942	838
	人数	3,121	3,144	3,108	2,277	1,909	1,494	1,739	1,744	1,522

2. 美術博物館

美術博物館は、県東部における国宝が展示できる本格的な博物館施設として平成7年に開館し、開館30周年を迎えた。美術、写真、歴史の3部門をもつ専門施設として、その特色を生かすためにさまざまな事業を展開した。自主事業として行う企画展覧会のほか、常設展示室の運営及び資料収集、調査研究並びに教育・普及事業等それぞれの目的にそって実施した。

林忠彦賞は、第33回の授賞式、受賞記念写真展、第34回の募集、選考、発表を行った。

開館30周年を記念し、ロビーにこれまで開催した展覧会のチラシをすべて掲載したタペストリーを掲示し、その歴史を振り返ってもらうとともに、美術博物館にまつわる思い出エピソードを募集した。応募いただいたエピソードについては館内での掲示のほか、情報紙を通じて紹介した。

令和7年度は、空調設備改修工事のため、1月4日から3月31日の期間臨時休館した。

(1) 管理運営事業

文化活動の拠点にふさわしい施設の管理や環境整備に努めた。

グッズ売場では、展覧会に関係した商品を販売するなど内容の充実を図り、喫茶事業でも、展覧会にあわせた期間限定メニューや好きなカップを選べるサービスの提供など、話題づくりや来館者の満足度を高めることに努めた。

(ア) 施設の整備

貴重な美術品等を収蔵、展示することから特に空調には細心の注意をはらい、年間をとおして適正な環境保持に努めた。

(イ) 施設の利用状況

令和7年度の年間入館者数は、常設展示室37,574人、企画展示室40,699人で、展示室の一般貸出入館者等を含めた総数は83,189人であった。

常設展示室は184千円の観覧料収入、企画展示室は1,680千円の使用料収入があった。

開館日数は234日、開催前後の準備期間等を含めた総使用日数は165日で、利用率は70.5%であった。

平成8年度から実施している企画展示室の一般貸出は、令和7年度は6件であった。また施設見学については、86団体を受入れた。

(ウ) 博物館協会

山口県博物館協会などに参加し、定期的に他館との情報交換や交流を図っている。夏休みの期間には、県立山口博物館の企画「びゅーんと巡るやまぐち2025」のスタンプラリーとコラボレーションし、連携を図った。

(2) 展覧会事業

特別展覧会は、「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」を開催した。様々なクリエイターの顔を持つやなせたかしの幅広い創作活動と、「人生はよろこばせごっこ」の信念を貫いた人生を振り返り、人々に勇気を与え続けている創作世界に迫った。

企画展覧会は、写真展「オードリー・ヘプバーン」を開催した。「ファッション」「映画」「プライベート」をテーマに、ハリウッドで活躍したフォトグラファーによって撮影された写真を展示し、今も人々を魅了するオードリーの魅力を紹介した。

「周南市美術展2025」は、前回の2月から約8ヶ月での開催となったことも影響してか、応募点数が昨年度より減少した。「しゅうなんアート・ナウ」は施設メンテナンスによる休館のため今年度は開催しなかった。

(3) 企画事業

美術博物館講座としては、「美術博物館探検ツアー」と「まどさんについてのおはなし会」を実施した。

常設展管理運営事業のうち、コレクション展示室では「コレクション展 戦後80年を迎えて」、令和6年度の収蔵品を紹介した「新収蔵品展」を開催した。林忠彦記念室は、林芸術の全容がわかるセンター施設として事業を行っており、今年度は、戦後80年にあわせて「戦時下の日本」「カストリ時代」のシリーズを展示した。「まど・みちおコーナー」では、絵画作品や文学関係資料を定期的に展示替えしながら紹介した。歴史展示室特設コーナーでは、「山陽新幹線開通50周年」や「戦後80年」「昭和100年」をテーマに、ゆかりの資料を紹介し、リピーターの確保に努めた。

林忠彦賞については、周南市において第33回受賞作「ALT」（鶴巻育子氏）の授賞式、受賞記念写真展を開催したほか、第34回林忠彦賞の募集、選考を行い、神奈川県在住の佐々木康氏の「XEPCOH ヘルソンーミサイルの降る夜に」が受賞した。周南市学校美術展は市内の小中学校、幼稚園、保育園が参加する総合美術展として実施した。資料収集事業については、収集委員会は開催されなかったが、寄託の申し出のあった資料の調査等を行った。

昨年に引き続き、市から戦争体験映像記録業務の委託を受け、戦争体験者4名に取材し、その証言をまとめた映像制作にあたり監修を担当した。完成した映像はロビーや歴史展示室で放映した。また、同じく市から委託を受け、まど・みちお作品の高精細デジタル撮影や年報の作成を行った。

情報発信については、「広報しゅうなん」や「かるちゃあ通信花島」のほか、ホームページを随時更新し、SNSで展覧会情報、喫茶の期間限定メニューや館周辺の季節の話題など、リアルタイムで情報を発信した。またシティーケーブル周南の協力で美術博物館の番組「びびびの美」を放映し、美術博物館の仕事や収蔵品、展示等の情報を提供した。

参考資料

1. 常設展入場状況

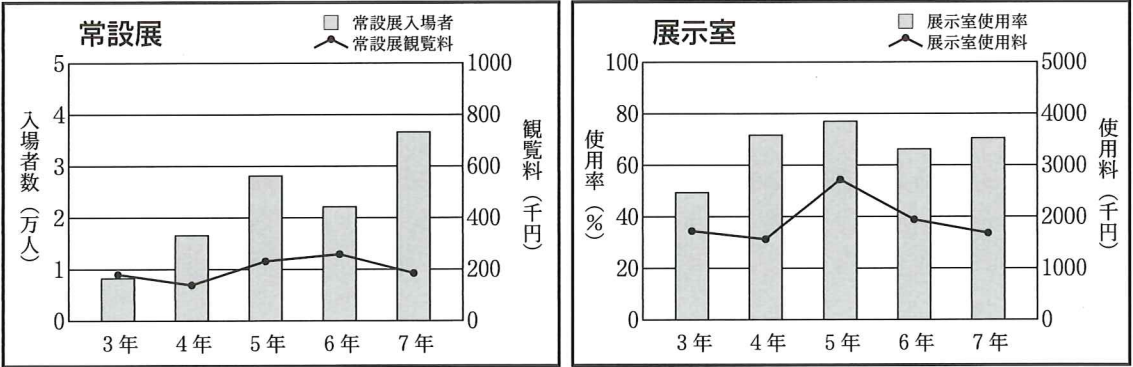
※令和8年1月4日から3月31日まで空調設備工事のため臨時休館

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
有料入場者	130	91	150	47	115	156	132	96	25	0	0	0	942
無料入場者	611	953	754	3,816	5,874	86	234	9,272	15,032	0	0	0	36,632
入場者合計	741	1,044	904	3,863	5,989	242	366	9,368	15,057	0	0	0	37,574
観覧料収入	25,600	17,700	28,740	9,300	22,300	30,700	26,300	18,900	5,000	0	0	0	184,540

2. 展示室使用状況

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展示室1	開館日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	0	0	0	234
	使用日数	5	11	9	27	27	13	25	24	24	0	0	0	165
	使用率(%)	19.2	40.7	36.0	100.0	100.0	52.0	92.6	92.3	100.0	0.0	0.0	0.0	70.5
展示室2	開館日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	0	0	0	234
	使用日数	5	10	8	27	27	4	25	24	24	0	0	0	154
	使用率(%)	19.2	37.0	32.0	100.0	100.0	16.0	92.6	92.3	100.0	0.0	0.0	0.0	65.8

展覧会名	期 間	日 数	展示室1	展示室2	合 計
第33回林忠彦賞受賞記念写真展	4/25～5/11	15	145,620 ^円	145,620 ^円	291,240 ^円
第17回書苑展	5/31～6/1	2	19,680	0	19,680
第4回山口一水会展	6/5～6/8	4	39,360	39,360	78,720
写真展「オードリー・ヘプバーン」	6/26～8/31	58	568,740	568,740	1,137,480
第18回周南美術連盟展	9/5～9/7	3	29,520	0	29,520
第21回周南書道連盟展	9/12～9/15	4	34,760	34,760	69,520
モダンアート山口支部展	9/23～9/28	6	54,440	0	54,440
第23回周南市美術展2025	10/2～10/28	23	0	0	0
令和7年度周南市学校美術展覧会	10/30～11/5	6	0	0	0
山口県中学校文化連盟第21回総合文化祭	11/6～11/9	4	0	0	0
やなせたかし展 人生はよろばせごっこ	11/13～12/28	40	0	0	0
合 計		165	892,120	788,480	1,680,600



3. 展覧会事業

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
周南市美術博物館 開館30周年記念 写真展「オードリー・ ヘプバーン」	7. 6. 27 ～ 8. 31	美術博物館 展示室 1. 2. 3	10,298人	一般 1,200円 大学生 1,000円 18歳以下および 身障者は無料	
第23回 周南市美術展2025 (受託事業)	(前期) 7. 10. 15 ～10. 19 (後期) 7. 10. 22 ～10. 26	美術博物館 展示室 1. 2. 3	1,360人	無 料	
周南市美術博物館開館30周年 記念・山口放送開局70周年記念 香美市立やなせたかし記念館 アンパンマンミュージアム 開館30周年記念 「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」 (受託事業)	7. 11. 14 ～12. 28	美術博物館 展示室 1. 2. 3	24,018人	一般 1,300円 大学生 1,000円 18歳以下および 身障者は無料	

内 容	反 響 ・ 反 省
「ファッション」「映画」「プライベート」をテーマに、ハリウッドで活躍したフォトグラファーによって撮影されたオードリー・ヘプバーンの写真約150点を展示し、今もなお人々を魅了し続けるオードリーの生き生きと輝く姿を紹介した。会期中に、学芸員によるギャラリートークを5回実施した。	開幕当初は入場者数が伸び悩んだが、連日SNSでオードリーのエピソードを発信したり、来館者からの要望に応じて、ギャラリートークを実施するなどして後半は入場者数が伸び、最終的には1万人を達成することができた。客層は世代・性別を問わず幅広く、写真を通して多くの人にオードリーの魅力を伝えることができた。
周南市に在住・在勤・在学、または市内の文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。平面、立体、書、写真の4部門で241点の応募があった。公開審査の結果、入賞および入選194点を展示した。市美展大賞は、平面部門の原田勝造さんの「求道者」が選ばれた。	前回の2月開催から約8ヶ月での開催となったことも影響してか、応募点数、入場者数ともに昨年度より減少したが、出品作品の質は変わらず高かった。10代の応募点数は高等学校の美術部などへの周知強化の効果もあり、前回に引き続き2桁台となった。事前申込や作品の搬入・搬出の時間指定も定着し、効率よく進めることができた。
様々なクリエイターの顔を持つやなせたかしの幅広い創作活動と、「人生はよろこばせごっこ」の信念を貫いた人生を振り返り、人々に勇気を与え続けている創作世界に迫った。やなせたかし記念館からの原画約200点を中心に334点を展示した。会期中、やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団事務局長で学芸員の仙波美由記氏の講演会、NHKチーフ・プロデューサーで連続テレビ小説「あんぱん」制作統括の倉崎憲氏の講演会、KRY山口放送の中村衣里アナウンサーによるやなせたかしの絵本読み聞かせを実施した。また、学芸員によるギャラリートークも2回実施した。	アンパンマンが長年にわたり愛され続けていることに加え、朝ドラ「あんぱん」の放送終了直後だったこともあり反響は大きく、コロナ禍以降最多の入場者数となった。チラシ配布、前売券販売など告知を早めに開始し、広く周知するよう努めた効果もあってか、前売券の販売も伸びた。やなせたかしが編集長を務めた「詩とメルヘン」にはまど・みちおの詩が掲載されるなど、まどさんとゆかりがある。やなせたかし記念館とは、前回のやなせたかし展や、まど・みちおのうちゅう展の巡回などのつながりもあり、今後も交流を続けたい。

4. 企画事業

事 業 名	開 催 日	会 場	入 場 者	入 場 料 料	
美術博物館講座 (一般・美術部門) 美術博物館探検ツアー	7. 10. 26	美術博物館 講座室	13人	無 料	
美術博物館講座 (美術部門) まどさんについての おはなし会	8. 3. 1	文化会館 3階展示室	65人	無 料	
コレクション展示室 〔常設展管理運営〕	7. 4. 1 ～ 8. 3. 31	美術博物館 展示室 3	37,574人	一 般 200円 (160) 大学生等 100円 (80) ()内は20名以 上の団体 18歳以下および 70歳以上無料 身障者等は無料	
林忠彦記念室		美術博物館 展示室 4			
歴史展示室		美術博物館 展示室 5			
まど・みちおコーナー					

内 容	反 響 ・ 反 省
かるちゃあサポートセンターと連携して実施。美術博物館や学芸員の仕事を知ってもらうため、ふだん見ることのできない館の裏側を紹介。対象は小学4、5、6年生、中学生とその保護者。収蔵品の紹介や美術品の扱い方などを説明した後、「作品を守る」をテーマにトラックヤードや空調設備などを見学。最後に箱に紐をかけて結ぶ実習を行った。家に帰ってから親子で話しながら美術博物館の秘密を知ってもらえるよう参加者に冊子を配った。	探検中、各ポイントでクイズを実施。楽しみながら、美術博物館の役割を知ってもらうことができた。参加者は、紐を結ぶ実習に苦戦しながらも真剣に取り組み、できたときには嬉しそうだった。実際に美術博物館の役割や学芸員の仕事に興味を持ってもらえるきっかけとなった。今後もこのような活動を続けていきたい。
毎年まど・みちおの命日にちなんで開催している。美術博物館は施設メンテナンスで休館中だったため、文化会館を会場に実施。今回は絵本画家でイラストレーターの黒井健氏を招いて講演会を開催した。参加者には恒例の「まどさんありがとう」缶バッジを配布した。	まどさんとの交流や創作について温かみのあるエピソードとともにお話いただいたほか、黒井氏がまどさんにインタビューした際の大変貴重な音声も聞くことができた。まどさんの人柄や新たな魅力を知ることができた。
3.26～6.15 「コレクション展 戦後80年を迎えて」 36点 9.6～9.28 「新収蔵品展」 36点	「コレクション展 戦後80年を迎えて」は、戦争のない世界を考えるきっかけにと実施。過酷なシベリア抑留体験を生きる喜びへと昇華させ表現した画家・宮崎進の作品を中心に展示した。「新収蔵品展」では、令和6年度に新たに収蔵した作品を紹介した。
日本を代表する写真家・林忠彦を顕彰するために、ふるさと独自の資料を公開。林ファンのセンター施設として位置づけている。今年度は、「戦時下の日本」、「カストリ時代」は「一復員・戦後混乱期を生きる人々」「一戦後復興と娯楽・文化」というテーマで2期に分け展示した。	今年度は、戦後80年にちなんだシリーズを展示。展示内容については情報紙やホームページ、SNS、市広報、ケーブルテレビなどで、積極的に告知した。
徳山の古代から現代までの歴史を実物資料やレプリカ、グラフィックパネルで紹介。特設コーナーでは、「山陽新幹線開通50周年記念 徳山駅のあゆみ」「徳山空襲と戦後の復興」「昭和100年 周南のうつりかわり」のテーマで周南ゆかりの資料を紹介した。	ふるさとの歴史を身近に感じてもらえるよう、「山陽新幹線開通50周年」「戦後80年」「昭和100年」など、テーマを工夫した。また情報紙やホームページ、SNS、市広報、ケーブルテレビでも積極的に告知した。昨年度と今年度に市の委託を受けて制作した戦争体験の証言映像を展示室内でも放映した。
当館が所蔵する絵画作品や文学関係資料を定期的に展示替えしながら紹介した。また、まど・みちお顕彰事業の一環として、11月8日と2月11日に周南市立徳山駅前図書館の主催で有田順一館長が講座を行った。	宇都宮美術館（栃木県宇都宮市）で4.27～6.29まで巡回展「まど・みちおのうちゅう」を開催。常設展の内容については、財団の情報紙だけでなく、ホームページ、SNS、市広報（年3回「まど・みちおのえ」掲載）、ケーブルテレビでも積極的にPRした。

4. 企画事業（続き）

事業名	開催日	会場	入場者	入場料	
周南市学校美術展	7.10.31 ～11. 3	美術博物館 展示室 1. 2. 3	3,681人	無 料	
第33回林忠彦賞 授賞式 受賞記念写真展	授賞式 7. 4. 26 周南展 7. 4. 26 ～ 5. 11	周 南 市 ・ 遠 石 会 館 美術博物館 展示室 1. 2	125人 1,342人	無 料	
第34回林忠彦賞 選考及び発表	選考委員会 8. 1. 21 受賞者発表 8. 3. 6	東 京 周 南	—— ——	—— ——	
資料収集事業	通 年	——	——	——	

内 容	反 響 ・ 反 省
周南市内の幼稚園・保育園の園児、小中学校の児童・生徒の作品を展示。美術教育の振興を図った。観覧をわかりやすくするため、1階に小中学生、2階に幼稚園・保育園児の作品を配置した。	来場者は昨年よりやや増加した。来場者は作品が展示された子どもとその家族が多いが、じっくり観覧し、様々な作品を楽しんでいた。平面は人物・風景・デザインなど多彩なテーマで丁寧に描かれていた。立体は園児は共同製作で大きくカラフルな作品が多かった。小中学生の作品は、細かいところまで繊細に作られていた。
第33回林忠彦賞、鶴巻育子氏『A L T』の授賞式を周南市で実施し、受賞記念写真展を当館と北海道の東川町文化ギャラリーで開催した。 (7.12.28～8.1.18) 受賞作は、視覚障害者への取材を通じて「見る」ということをテーマにした作品。今までに試みられたことのないテーマで、見える自分が見えない彼らと違うのか、同じなのか、彼らがどういう世界の中にいるのか想像力をもって具体的に進めたことが意義深いと高く評価された。	昨年に続き、市民の方々にも参加してもらえ形形の授賞式を周南市で行なった。二部構成とし、第一部の授賞式では選考委員長の大石芳野氏や選考委員の河野和典氏をはじめ、市民の方々も多く集まり鶴巻さんの受賞をお祝いした。第二部では第24回林賞を受賞した中藤毅彦氏の講演会を開催。翌日には美術博物館で鶴巻氏のトークショーを行った。写真展は、会期が昨年よりも5日長く、ゴールデンウィーク期間中だったこともあり、入場者数は増加した。受賞作のテーマから、視覚障害者の来館もあった。
第34回受賞作は、佐々木康氏の写真集・写真展「XEPCOH ヘルソンーミサイルの降る夜に」に決定した。作者がウクライナで暮らした2022年と2023年のあわせて7ヶ月の間に撮影した写真を中心に友人、兵士たちとのチャットの内容をまとめた作品。私たちが生きる日常のすぐ先に戦争があり、日常と非日常が交錯する中で、人々が遅く生きていること、戦争が非日常ではないことを改めて考えさせられる作品として高く評価された。	本年は83点の応募があった。ドキュメンタリーからアートまで多岐にわたり見応えのある作品が並んだ。林賞周知のため、ポスターを作成し市内外各所へ配布したほか、市役所市民ロビーの特設コーナー、徳山駅通路のタペストリー、駅前図書館の9面モニターなども活用した。また、歴代受賞作品パネルを郷土美術資料館に展示した。より広く、多くの市民の目に触れるよう様々な形でPRに努めた。
現在、資料収集委員会は隔年で開催している。 7年度は該当年ではなかったが、寄託申し出のあった資料等の調査を行った。	これまでの収蔵資料については常設展で紹介したほか、調査依頼や貸出等に対応した。

3. 郷土美術資料館

郷土美術資料館・尾崎正章記念館は、平成7年に開館、令和7年度は開館30年目となった。随時、施設面のメンテナンスを実施し、収蔵や展示などの適切な環境づくりに努めた。

(1) 管理運営事業

令和7年度の年間入館者数は3,930人、そのうちワークルームは2,640人であった。企画展示のない期間には、市民団体に中・小展示室の貸出を行い、今年度は「グループ風車の会」による作品展が開催された。

(2) 展覧会事業等

尾崎正章常設展は、「白い叙情」「あの日の海」「花の香り」「人をみつめて」と4回に分けて開催した。

企画展は、「林忠彦写真展 世界と日本のこころ旅（世界編）」「郷美のコレクション展」「土居健展～版画でめぐる風景」「松井黎光 書作展 一書の歩み」を開催した。

「広報しゅうなん」や「かるちゃあ通信花畠」で情報を提供するとともに、ホームページを随時更新し情報を発信した。またシティーケーブル周南の協力で、展覧会ごとに「びびびの美」で紹介、YouTubeにアップした後も気軽に見ていただけるようQRコード入りのチラシを配布しPRを図った。

参考資料

1. 入場状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ワークルーム(人)	327	461	84	196	131	64	220	467	0	228	293	169	2,640
有料入場者(人)	60	67	23	12	20	21	41	60	0	36	66	51	457
無料入場者(人)	126	134	15	34	25	24	66	104	0	133	108	64	833
入場者合計(人)	513	662	122	242	176	109	327	631	0	397	467	284	3,930
観覧料収入(円)	12,000	13,400	4,600	2,400	4,000	4,200	8,000	12,000	0	7,200	13,200	9,900	90,900

2. 展示室使用状況

区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大展示室	開館日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中展示室	開館日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
小展示室	開館日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用日数	26	25	8	27	27	9	27	25	0	13	24	10	221
	使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ワークルーム	開館日数	26	25	8	27	27	9	27	26	0	13	24	10	222
	使用日数	26	25	8	27	27	9	27	26	0	13	24	10	222
	使用率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0

展覧会名	期 間	日数	大展示室	中展示室	小展示室	ワークルーム	合 計
林忠彦写真展 世界と日本のこころ旅 (世界編)	4/1～5/25	48	円	円	円	円	0円
郷美のコレクション展	6/21～8/24	56					0
土居健展～版画でめぐる風景	9/20～11/24	57					0
グループ風車の会作品展	11/27～11/30	4		9,430	5,540		14,970
松井黎光 書作展 一書の歩み―	1/17～3/8	44					0
林忠彦写真展「東海道を撮る」	3/28～3/31	3					0
合 計		212	0	9,430	5,540	0	14,970

4. 庶務事項

(1) 組織

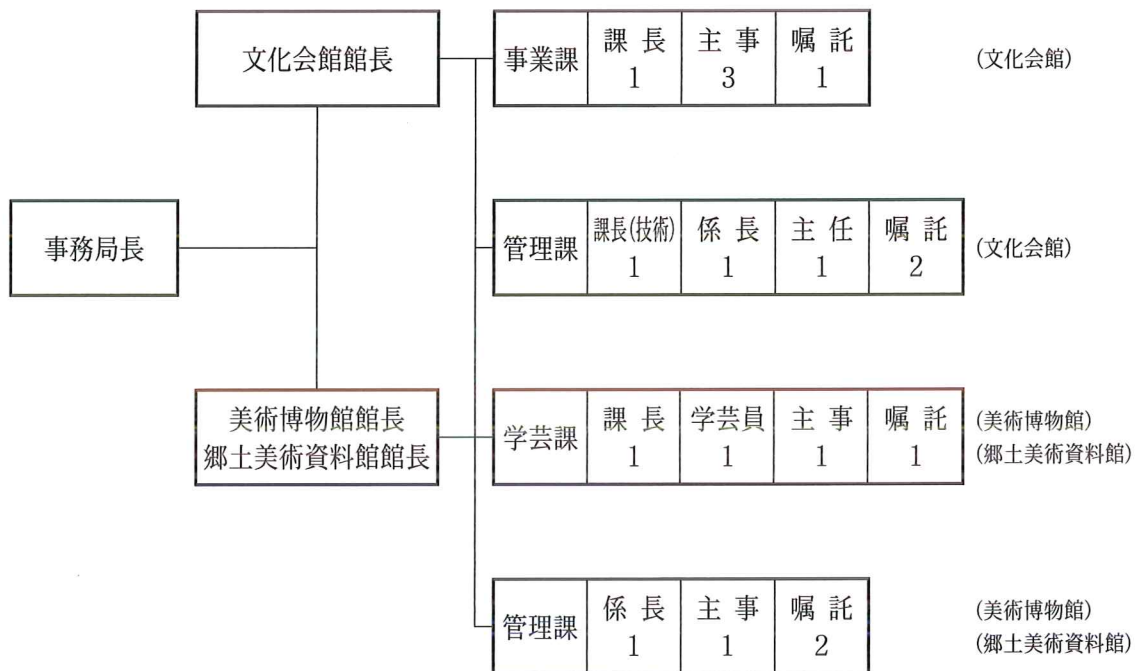
ア. 評議員

氏 名	就任・重任	退 任
赤 坂 徳 靖	7 . 6 . 12	
黒 神 直 大	7 . 6 . 12	
厚 東 和 彦	7 . 6 . 12	
清 水 孝 子	3 . 6 . 16	7 . 6 . 12
山 縣 俊 郎	7 . 6 . 12	
山 下 武 右	3 . 6 . 16	7 . 6 . 12

イ. 理事及び監事

役 員	氏 名	就任・重任	退 任
理 事 長	藤 井 律 子	5 . 6 . 26	7 . 6 . 12
”	平 岡 英 雄	7 . 6 . 12	
理 事	有 田 順 一	5 . 6 . 26	7 . 6 . 12
”	磯 村 慶 一	7 . 6 . 12	
”	岩 田 幸 雄	5 . 6 . 26	7 . 6 . 12
”	岡 崎 昌 子	”	”
”	小 田 み づ ゑ	”	”
”	河 村 純 一 郎	”	”
”	高 下 正 明	7 . 6 . 12	
”	道 源 敏 治	”	
”	林 延 吉	”	
”	原 田 康 宏	”	
”	藤 田 (松本) 久 美 子	”	
”	宮 本 治 郎	5 . 6 . 26	7 . 6 . 12
監 事	秋 山 一 正	3 . 6 . 16	”
”	小 笠 原 文	7 . 6 . 12	
”	河 村 實	”	
”	山 下 敏 彦	3 . 6 . 16	7 . 6 . 12

ウ. 事務局



(2) 会議の開催

ア. 評議員会

開催年月日	議 案
7 . 6 . 12	① 「理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準規程」の改正 ② 令和 6 事業年度公益財団法人周南市文化振興財団事業報告及び収支決算 ③ 公益財団法人周南市文化振興財団役員等の選任
7 . 6 . 20	① 基本財産の運用
8 . 3 . 9	① 令和 8 事業年度の公益財団法人周南市文化振興財団事業計画及び収支予算 ② 資金調達及び設備投資の見込み ③ 基本財産の運用 ④ 基本財産の積み立て

イ. 理 事 会

開催年月日	議 案
7 . 5 . 23	① 公益財団法人周南市文化振興財団諸規程の改正、廃止、新設 ② 令和 6 事業年度公益財団法人周南市文化振興財団事業報告及び収支決算 ③ 利益相反取引 ④ 事務局長の任免 ⑤ 評議員会の招集
7 . 6 . 12	① 公益財団法人周南市文化振興財団理事長の選定 ② 利益相反取引 ③ 基本財産の運用
7 . 6 . 18	① 臨時評議員会の招集
7 . 7 . 31	① 再発防止策の進捗状況 ② 再発防止策定着にむけての今後の取組
7 . 12 . 3	① 公益財団法人周南市文化振興財団財務会計規程の一部改正 ② 指定管理者応募にかかる事業計画書
8 . 2 . 19	① 公益財団法人周南市文化振興財団「就業規則」、「育児・介護休業等規程」の一部改正 ② 令和 8 事業年度公益財団法人周南市文化振興財団事業計画及び収支予算 ③ 資金調達及び設備投資の見込み ④ 基本財産の運用 ⑤ 基本財産の積み立て ⑥ 評議員会の招集

(3) 登記及び届出

ア. 登 記

登記原因発生	申 請 先	事 由	登記年月日
7 . 6 . 12	山口地方法務局	評議員の退任及び就任・重任 理事、監事の退任、代表理事の退任 理事、監事、代表理事の就任	7 . 7 . 4

イ. 主務官庁への届出

届出年月日	届 出 事 項
7 . 7 . 4	登記完了届出書 (評議員、理事、代表理事及び監事の変更)
7 . 6 . 25	令和 6 年度事業報告書及び決算書
8 . 3 . 28	令和 8 年度事業計画書及び収支予算書

5. 令和7事業年度事業報告について

令和5事業年度に明らかになった不祥事については、「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当し、令和6事業年度事業報告書において、全容について報告した。その後の経過および状況について以下に報告する。

不祥事への対応について

1. 事案の概要

- (1) 元職員A（男性、50代、事業係長）が、平成17年頃から令和5年5月頃までの間、複数回にわたり、当財団事務所の金庫等に保管されていた現金を窃取し、またチケットの売上金回収業務において集金した売上金を横領した上、競馬の賭け金等として費消していた。また休職を命ぜられたのちも売上金回収を行った。
- (2) 元職員B（男性、60代、管理課主幹）が、職員Aによる窃盗・横領行為を認識していたにもかかわらず、財団にこれを報告することなく、基本財産、退職手当積立金等を無断で取り崩して元職員Aの犯行により発生した損害を隠し、更に定期預金の残高証明書を偽造し、虚偽の決算報告書、財務諸表等を作成した。
- (3) 財団はその被害額を1億5066万8988円と認定した。元職員A及び元職員Bを刑事告訴し、元職員Aは令和7年7月26日に詐欺、窃盗の罪で懲役1年10月、元職員Bは令和7年1月14日に有印私文書偽造・同行使の罪で懲役3年（執行猶予5年）の有罪が確定した。また損害の回復に向けて、令和6年10月17日に元職員A及び元職員Bに対して損害の賠償を求める民事訴訟を提訴し、現在も係属中である。

2. 経過

(1) 財団

※数字は昨年度から継続

- 令和7年4月30日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出④
周南市による指定管理者に対する実地調査①
- 8月8日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出⑤
- 12月25日 山口県公益認定等審議会に報告書を提出⑥
- 令和8年1月8日 周南市による指定管理者に対する実地調査②
- 3月2日 山口県学事文書課による立入検査

(2) 理事会（不祥事関係）

- 令和 7 年 5 月 23 日 再発防止策に係る諸規程の改正、廃止、新設
7 月 31 日 再発防止策の進捗状況について報告
再発防止策定着に向けての今後の取組について決議
12 月 3 日 公益通報マニュアルについて

(3) 評議員会（不祥事関係）

- 令和 7 年 6 月 12 日 不祥事の経過報告
令和 8 年 3 月 9 日 再発防止策の取組状況報告

3. 再発防止に向けた研修の実施状況

- 令和 7 年 7 月 29 日 諸規程について（就業規則、事務決裁規程の改正点とその目的）
8 月 19 日 社会保険労務士による講演
（コンプライアンスの意義、就業規則上の服務規律）
（ハラスメント行為の禁止、個人情報保護）
（法令遵守（道路交通法、違法賭博））
9 月 9 日 諸規程について（契約事務規程の改廃とその目的）
10 月 28 日 諸規程について（財務会計規程の改廃とその目的）
11 月 18 日 社会保険労務士による講演（年金について）
12 月 9 日 公益法人制度について（公益財団法人とは）
令和 8 年 1 月 6 日 指定管理者としての在り方について
3 月 3 日 諸規程について（財務会計規程に定める予算の考え方）